第１６０回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成３０年２月１９日提出）

１．題　目：入学者選抜における面接実施に関するＦＤ

２．日　時：　平成３０年２月１日（木曜日）10:00～12:00/13:00～15:00/15:20～17:20

３．場　所：文教キャンパス総合教育研究棟　２階多目的ホール

４．主　催：大学教育イノベーションセンター　アドミッション部門
　　学生支援部　入試課

５．対　象：本学教職員（非常勤含む），国立六大学入試関係者

６．長崎大学ＦＤに関する申合せ第２第１項への該当について【複数選択可】
（該当するものに○を記入すること）
[　　]⑴　教員の教育活動に関するもの
[　　]⑵　カリキュラムの改善に関するもの
[　　]⑶　教育の組織的改善に関するもの
[　○　]⑷　入学者選抜方法の改善に関するもの
[　　]⑸　その他教育改善及び入学者選抜の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
現在進行中の高大接続システム改革の中で，文科省並びに国大協は，今後の大学入学者選抜において，３つの学力要素のうち「主体性等」，すなわち従来の学力試験では図ることが難しい能力・態度を適切に評価することを求めております。この評価の一手法として考えられるのが面接ですが，多くの教員は面接についての特別な訓練等を受けておらず，突然面接の担当となって慌てたり，長年の経験はあるものの自己流に陥っていはしないか，といった不安をお持ちのケースが見られます。そこで今回，こうした不安を解消し，本学の入学者選抜をより向上させることを目的として，面接未経験もしくは経験の少ない教員を主な対象に，面接実施の基礎的な知識および質問の仕方について修得していただくため，経験豊富な民間のコンサルタントをお招きして本 FD を企画・実施いたしました。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）

＜各回共通プログラム＞

(5 分)イントロダクション－入学者選抜における「主体性等」の評価について

大学教育イノベーションセンター　アドミッション部門部門長　吉村宰教授

(115 分)「面接ガイダンス」

株式会社リクルートキャリア　シニアコンサルタント　國本浩市氏（講師）

同社　ソリューションプランナー　片井順一氏（ロールプレイング サポート）

(30 分)面接の基礎知識

(40 分)掘り下げ質問エクササイズ

(5 分)休憩

(30 分)ロールプレイング

(10 分)質疑応答

９．参加者：３６名

（内訳）

所　　属	人　　数
教育学部・教育学研究科	4 名
経済学部	1 名
医歯薬学総合研究科	5 名
工学研究科	9 名
水産・環境科学総合研究科	2 名
病院	2 名
熱帯医学研究所	1 名
原爆後障害医療研究所	1 名
千葉大学　高等教育研究機構	1 名
岡山大学　全学教育・学生支援機構	1 名
熊本大学　学教育統括管理運営機構　入試戦略室	1 名
ダイバーシティ推進センター	2 名
学生支援部　入試課	1 名
大学教育イノベーションセンター（非常勤講師含む）	5 名
計	36 名

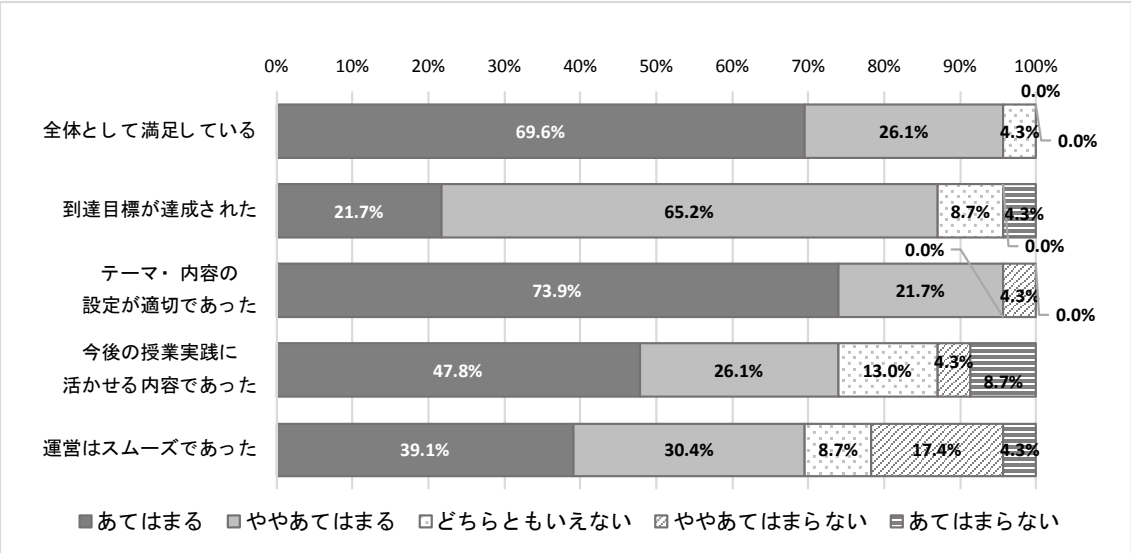
※　別紙に参加者名簿を添付してください。

１０．実施したＦＤの成果等

（１） 参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）

実施後のアンケート結果は以下の通りとなった。

設問 / 選択肢	全体として満足している	到達目標が達成された	テーマ・内容の設定が適切であった	今後の授業実践に活かせる内容であった	運営はスムーズであった
あてはまる	16	5	17	11	9
ややあてはまる	6	15	5	6	7
どちらともいえない	1	2	0	3	2
ややあてはまらない	0	0	1	1	4
あてはまらない	0	1	0	2	1



参加者からの主な自由記述でのフィードバックには以下のようなものがあった。

●今回のプログラムについて，お気づきの点・ご意見・ご感想（原文ママ）

・テーマとして非常に求められるものでありながら，なかなか具体的に勉強できる機会がなかったので，とても助かりました。また，内容もとてもわかりやすく的確なアドバイスをいただけて，大変勉強になりました。

・面接を行うすべての教員が事前に受講しておくべき内容である。

・面接について，専門の方から学ばせていただいたのが初めてだったため，とても学びになりました。

・とても参考になりました。通常の業務では関わらない内容をお世話してくださり，感謝いたします。今後も，大学のサービス向上につながるよう，ぜひ良いテーマを選んで FD を開いてください。

・面接において受験者の情報をいかにたくさん引き出すかが，その後の採用（入学）の判断をするうえで非常に重要であることがよく理解できた。特に，受験者をリラック

スさせた上で，受験者側のどのようなシチュエーションにも対応した深堀りの質問を次々と発するようになるには，訓練の必要性を感じた。将来的には，大学で”面接マイスター”などの認定制にして，インセンティブを付与し，広げていければよい。
・ロールプレイでは，面接委員が想定している質問の難易度と受験者にとっての難易度は異なることを実感した。今後は受験者の立場になる思考をもっと重視したい。
・企業の立場からの講演は大変興味深かった。動画鑑賞，ロールプレイ，振り返り等に時間が割かれた一方，質疑応答が削られたのは痛恨の極みです。
・全学の FD なので，やむを得ないと思いますが，教育学部は附属小学校との関連で年間の中でも重要な研究発表会と重なる日程となっておりました。日程や告知の時期へのご検討をいただけるとありがたいと思います。
・面接する側になった経験が乏しいため，どのような質問のしかたをしたら良いのか非常に参考になった.

●長崎大学 FD としてとりあげるテーマ・内容についてご意見・ご要望（原文ママ）
・入試問題作成と点検の FD
・勉学・研究に対して不真面目な教員・学生対策
・企業の方にお越しいただいて，会議（大学ですと委員会なども含みますが）の運営方法について，お話を伺う機会をご準備いただければと思います。
・研究者，教育者自身のスキルアップにつながるもの（直接授業実践につながらなくても）もＦＤとして実施してもらいたい。
・教育職員と技術職員が連携した講義・学生実験の改善
・教材や教育経験の共有を促す試み？
・「自身の特性や内面を知る」をテーマに学びたい
・講義形式の授業での効果的な板書方法や資料提示の仕方。

（２） 総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

現在進行中の高大接続改システム改革に対する国大協方針では，推薦や AO 入試の入学者の比率を国立大学全体で 30%まで引き上げることを打ち出している。今後の入学者選抜において，その比重が高くなる面接についての教職員の理解やスキルの向上を目指し，今回初めて，全学 FD として外部講師を招いてロールプレイングに重点を置いた面接 FD を実施した。

プログラムでは，まず，アドミッション部門　部門長の吉村教授より，現在の入試改革の中における「主体性等」の評価についての概略を説明したのち，リクルートキャリアのシニアコンサルタントで，長くリクルート本社での採用面接を担当してきた國本講師による面接ガイダンスに入った。初めに，座学として面接における基礎知識，特に第一印象による影響の強さ，受験者に「言いたいことを出し切った」「引き出してもらえ

た」と思わせる面接になるためにどのようなことに気を配るべきなのかについての説明があった。続いて，動画で実際の面接を比較した。ありがちな誤った採用面接の様子と，掘り下げ質問で対象者の深い部分まで踏み込んだ面接の様子の二種類を比較し，参加者は後者の面接での掘り下げ方と，そこから評価できる受験者の資質を確認した。続いて，参加者でペアを組み，受験者と面接員というシチュエーションで交互に掘り下げ質問のロールプレイングを行い，受験者を引き出す質問の難しさを体験してもらった。その後，感想についてお互いに出し合い，さらに全体への共有を図った。最後に質疑応答を行い，FD 内容だけでなく，実際の面接においての疑問や困りごとについて講師に答えてもらうという流れで各回実施した。

参加者からのフィードバックでは，全体としての満足度では「あてはまる」「ややあてはまる」の合計で 95.7%，テーマ・内容の設定についても同様に 95.7%と，高い満足度が得られた。一方で，「今後の授業実践に活かせる内容であった」に関しては，ポジティブ回答が 73.9%とやや低く，「ややあてはまらない」との回答が 1 名，「あてはまらない」との回答が 2 名あった。当該回答者の自由記述は「非常にためになった」との意見となっていることから，これはアンケート設問が「授業実践」となっていたためではと推測されるが，今後の実施では入試だけではなく授業実践においても役立つような内容を取り入れた企画を検討していく。

運営に関しては，動画再生がうまくいかず一時中断したり，プロジェクターの音がうるさすぎたりといった会場設営上の不備に加え，日程設定に対する指摘・要望もあり，やや満足度が低くなった。開催時期設定・会場確保は課題である。

自由記述では，非常に有益であったという意見とともに，1 回目の開催では，動画再生が一時中断する不具合があり，十分に質疑応答の時間を確保することができず，これに対する要望が寄せられた。また，日程や開催時間に対する要望も寄せられた。これらは，今回実施した内容に対する評価の高さとも受け取るとともに，次回以降の開催に向けて改善を検討していきたい。

今回の実施にあたっては，短い広報期間かつ学期末の開催であったにも関わらず，他大学や坂本，片淵キャンパスからの参加者を含め，30 名を超える参加となった。また，日程が合わず参加できないが，資料だけでも欲しいという要望も 10 件近く寄せられ，テーマへの関心の高さがうかがえた。

今後の FD への要望として，「入試の作問と点検の FD」というものがあった。これらについても，これまで学部教員に任せきりになっている部分が多く，反省すべき点である。入試に関して各学部が積み上げてきた暗黙知を形式知として全学への共有を図るような取り組みを今後は強化していきたい。

（文責：花堂）

１１．実施代表者の連絡先

部　局：大学教育イノベーションセンター(兼)
職　名：入試担当副学長　　氏　名：星野　由雅
e-mail：hoshino@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：２３３２

１２．申請者の連絡先

部　局：大学教育イノベーションセンター　アドミッション部門
職　名：教授　　氏　名：吉村　宰
e-mail：osamu@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：２１１７